

林芙美子の通った小学校



明治36年下関市田中町で生まれた林芙美子は、名池小学校に4年生まで在籍しています。

その後、行商の母と各地を転々とし、その苦労の人生の中から「放浪記」などの名作を生み出し、文流作家として中央歌壇で不動の地位を得るのです。

「放浪記」で「その頃の私はとても元気な子供だった。」と書いている芙美子でしたが、47歳の短い生涯を閉じることとなるのです。